# 月潟まつりにぎわう

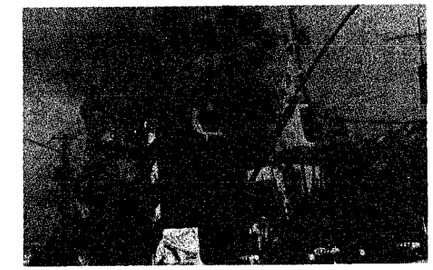
## 山車にも登場〝角兵衛獅子〟

恒例の月潟まつりが去る、六月二十三日の宵宮に始まり、二十四日～五日の両日盛大に行なわれました。タルミコシも山車、民謡流し、角兵衛獅子の奉納、剣士会奉納試合、土田演芸団、トランペット隊パレードと多催な協賛行事でにぎわいを見せ、角兵衛獅子の舞が行なわれた二十四日は一日雨。傘をさしながらの観覧となったがさかんにシャッターを押していました。

拍手と歓声でまつりを盛り上げた山車に、再度紙面に登場してもらいました。

◀朋の会『一休さん』

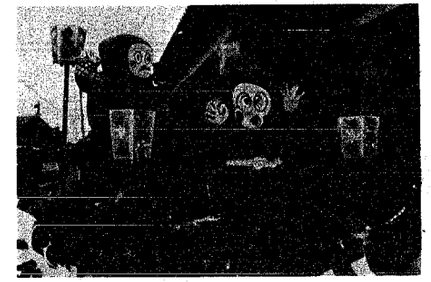
◀新二三会『とんがりぼうしのメモル』



◀住吉会『子連れ狼』

◀むつき会『名産月潟なし』

◀若獅子会『角兵衛獅子』



◀若駒会『忍者ハットリ君』

◀地下連絡路に展示された月潟村の特産品

## 月潟村の特産品を展示

新県庁と隣接して建てられた自治会館との地下連絡路に県下全市町村の特産品が展示され、角兵衛獅子の里として月潟村からは、角兵衛獅子のパネルをバックに、獅子にちなんだ銘菓類、越後鎌、味噌、醤油等が展示されました。

なお、九月末には、名産なしをメインに、まゆ玉や、味噌漬等と入れ替わる予定になっています。





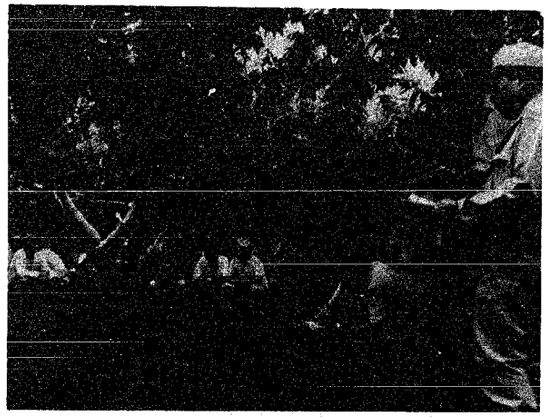
# モモ現地研修会開催される

去る七月六日、新潟県果樹振興協会、新潟県経済連主催のもとで、県下のモモ栽培農家及び県・市町村、農協等関係者約二〇〇名の参加を得て月潟村でモモ現地研修会が開催されました。この研修会は毎年県下のモモの産地で開催されており、当村で開催されるのは始めてでした。

午前の園地視察は二班に分かれ三圃場（小湊真氏、斎藤雅美智氏、阿部力氏）でそれぞれ園主から栽培の現況説明を受け質疑応答。その後月潟農協の選果場を視察し、午前の現地研修を終了しました。

午後は中学校体育館において全体集会が開催され、県果樹振興協会モモ部会長のあいさつと、地元村長、農協組合長らの歓迎のあいさつに続き村産業課長より「月潟村のモモ栽培の現状と問題点」について説明がありました。つづいて各産地の代表者から園地を見た意見、感想が述べられそれに対し、園主や普及員、地元関係者から答えていただきました。その後、経済連園芸部より「今年のモモ販売取扱い基本方針」と題し、経済連の今後の果樹集荷体制に努力する旨の説明があった後、白根市茨曾根小池正一氏と加茂市須田樺敬一氏より「わが家のこれからのモモ経営」と題して発表にモモ栽培農家一同決意をあらたにしていました。

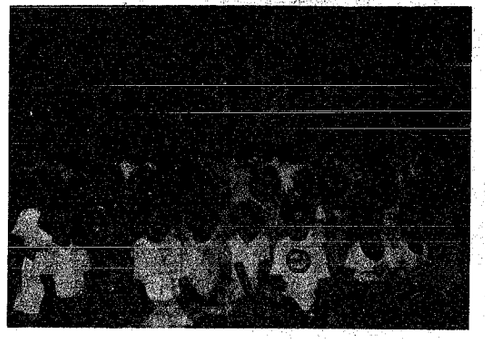
また、小林専門技術員より当面の管理についての技術指導をいただき、最後に新潟中央青果集実部次長小出斉治氏より「モモの消費動向と産地に期待すること」と題しての記念講演があり、午後四時過ぎ盛会裡に閉会しました。



▲午前に行われたモモ園での現地研修
経営概要を説明する3号園主阿部力氏

# 保育園で七夕

## みなさん、なにをお願いしたのかな？



## 入札結果公表

一、工事名
村道1号線側溝布設工事
二、契約年月日
昭和60年6月20日
随意契約
三、契約業者
中之口村　㈱渡大組
四、契約額
九、九七〇千円